

## 利用上の注意（鉱工業指数の概要）

### 1 概要

鉱工業指数は、鉱工業生産に関連する活動が経済全体の中で高いウェイトを占めていること、景気の動きに敏感であること、速報性があることから、重要な経済指標のひとつとして広く活用されている。

本県でも県内における鉱工業の活動水準とその動向を把握するため、「広島県鉱工業生産動態統計調査規則」に基づく調査を毎月実施し、この資料と関係機関からの資料を基に「広島県鉱工業生産・出荷・在庫指数」を作成、公表している。

### 2 指数の構成

鉱工業指数の対象範囲は、製造工業と鉱業からなっているが、このうち、生産・出荷指数については、公益事業（電気・ガス）を加えた産業総合という系列も参考として作成している。

また、日本標準産業分類に基づく業種分類と、採用品目をその用途により財別に格付けした特殊分類の二通りを作成している。

現行の指数はいずれも平成12年（2000年）を基準時としている。

### 3 採用品目数

生産指数 256品目 ， 出荷指数 254品目 ， 在庫指数 168品目

### 4 ウェイト

基準年次（平成12年）の付加価値額、出荷額及び在庫額の鉱工業に対する各部門、各品目の一万分比である。

### 5 算式

基準時固定加重算術平均法（ラスパイレス算式）であり、基準時の金額構成比をウェイトとして加重平均して比較を行うものである。

$$\text{個別（品目別）指数} = \frac{\text{品目別比較時（月）数量}}{\text{基準数量（品目別平成12年1か月平均数量）}}$$

$$\text{総合指数} = \frac{\text{（個別指数} \times \text{品目別平成12年ウェイト）の総和}}{\text{品目別平成12年ウェイトの総和}}$$

### 6 季節調整

米国商務省センサス局が開発したX-12-ARIMAにより行っている。

### 7 資料

経済産業省が行う「生産動態統計調査」等により収集する資料を主体とし、これに県独自で行う調査を加えた資料による。

8 特殊分類

分類	定義
最終需要財	鉱工業又は他の産業に原材料等として投入されない製品。ただし、建設財を含み、企業消費財を除く。
投資財	資本財と建設財の合計。
資本財	家計以外で購入される製品で、原則として想定耐用年数が1年以上で比較的購入価格が高いもの。
建設財	土木建築工事用の資材、建築物に対する内装品。
消費財	家計で購入される製品(耐久消費財と非耐久消費財の合計)
耐久消費財	原則として想定耐用年数が1年以上で比較的購入価格が高いもの。
非耐久消費財	原則として想定耐用年数が1年未満又は比較的購入価格が低いもの。
生産財	鉱工業及び他の産業に原材料等として投入される製品。ただし、企業消費財を含み、建設財を除く。

9 内容についての問い合わせ先

広島県地域振興部管理総室経済統計室(工業統計グループ)

〒730-8511 広島市中区基町10-52

電話 (082) 513-2542 (ダイヤルイン)